

跡見学園女子大学 学報



2025(令和7)年、学校法人跡見学園は創立150周年を迎えます。本学園の創立者である跡見花蹊が日本人による初の私立女子教育機関を設立して以来、その教育理念は今日に至るまで脈々と受け継がれています。

このポスターは、創立150周年を記念し、『はいからさんが通る』(作:大和和紀)の主人公・花村紅緒^{はなむらべに お}をモデルに作製したものです。同作中で花村紅緒が通う「跡無女学館」は、跡見花蹊が創立した「跡見学校」がモデルといわれています。「打ち破れ、自分。」というキャッチコピーには、時代の先駆者となった跡見花蹊や花村紅緒のように、自ら進むべき道を切り拓き、夢を実現する「自律し自立した女性」を目指してほしいという思いが込められています。本学は学生たちが自分らしい生き方を見つけられるよう応援していきます。

今号では、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和される中、クラブ・サークルやゼミ、海外研修、地域交流活動などに積極的に取り組む学生の皆さんの様子をご紹介します。学生の皆さんがより充実したキャンパスライフをおくれるよう、引き続き、教職員一同、学修・生活支援に努めてまいります。今後とも保護者・関係者の皆様のご理解、ご支援をお願いいたします。

記事内容

○跡見学園創立150周年事業	2
○観光コミュニティ学部まちづくり学科へ名称変更	3
○授業時間割・学事暦の変更について	3
○第56回紫祭活動報告	4
○CLUB NOW	4
○2023年度課外活動奨励賞	5
○学生会情報	5
○ゼミ活動紹介	6
○2023年度夏期海外研修終了報告	7
○地域交流活動の紹介	8~9
○就職課 Information	10
○情報メディアセンターからのお知らせ	11
○図書館トピックス	11
○2023年度「学生生活に関する調査」結果について	12
○2023年度学内講演会開催報告	13
○2023年度各種研究助成報告	13
○教職員紹介	14
○2024年3月23日(土)オープンキャンパスのご案内	14
○「桜まつり」開催について	14
○2024年度春学期オリエンテーションおよび定期健康診断日程	15
○2024年度花蹊記念資料館展示スケジュール	15
○春の行事予定	15
○令和6年度履修申請期間	15
○令和6年能登半島地震による被害に遭われた皆様へ	16
○公式SNS紹介	16

学校法人跡見学園は創立150周年を迎えます



創立者・跡見花蹊

翌2025（令和7）年、学校法人跡見学園は創立150周年を迎えます。

1875（明治8）年、本学園の創立者・跡見花蹊（以下、花蹊）は、東京神田に「跡見学校」を設立し、女子教育の黎明期に日本人による初の私立女子教育機関を設立したパイオニアでした。花蹊の確立した知育のみならず情操教育にも重きを置いた独自の教育方針は、現在の跡見学園女子大学、跡見学園中学校高等学校にも受け継がれています。今後、学園創立150周年に向けて、様々な記念企画の実施を予定しています。

『はいからさんが通る』（作：大和和紀）花村紅緒を起用したコラボ広告

漫画家・大和和紀さんの代表作『はいからさんが通る』の主人公・花村紅緒（以下、紅緒）が通う「跡無女学館」は、1875（明治8）年に花蹊が創立した「跡見学校」がモデルといわれています。『はいからさんが通る』は、大正時代、紅緒が旧習にとらわれず、バイタリティあふれる行動力で自分の道を切り拓き、愛する人と結ばれる物語です。

この度、学園創立150周年を記念し、紅緒を起用した広告を制作しました。女子教育に革新をもたらした花蹊、自分らしい生き方を求めて意志を貫き通した紅緒、二人に共通しているのは、常識や固定観念に縛られないその姿勢です。花蹊や紅緒の挑戦からおよそ1世紀半、女性が自由に活躍できる環境が整いつつあります。この広告には、本学園に通う皆さんが、時代の先駆けとなった二人のように、自分の手で進むべき道を切り拓き、夢を実現する「自律し自立した女性」をめざしてほしいという思いが込められています。



跡見学園創立150周年記念募金（跡見さくら咲く募金）のお願い

- 目的 学生・生徒により充実した過ごしやすい教育環境を提供するために使用します。
 - ①キャンパスリフレッシュ化計画の推進、学生会館の建築（新座キャンパス）
 - ②中高生のためのオープンスペース構想の推進（面談・自習・休憩等のスペース）
 - ③ICT環境の更なる充実を図るため、オンライン授業の環境整備、AV設備の改修など、整備・充実を継続的に実施
- 目標額 5億円
- 期間 2021（令和3）年4月1日～2025（令和7）年3月31日
- 寄付金額 一口1万円 ※一口未満のご寄付も有り難く申し受けます。

募金のお問い合わせ ☎03-3941-4100（募金事務局）

学校法人跡見学園へのご寄付には、税制上の優遇措置が適用されます。

跡見学園 募金

検索



QRコード



学生会館（新座キャンパス）

観光コミュニティ学部まちづくり学科へ名称変更

2024（令和6）年4月より、「観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科」の名称を「観光コミュニティ学部まちづくり学科」に変更します。

コミュニティデザイン学科については、かねてより、「コミュニティデザイン」という概念が社会に十分に浸透しておらず、学外から本学科の内容が分かりにくい、といった意見が少なからずありました。そのため、本学科の学びや人材育成の目的が明確に理解できる日本語表記の名称である「まちづくり学科」に名称を変更することとしました。変更は学科の名称のみとし、カリキュラム編成や学位授与の方

針、教育課程等の変更はありません。

「まちづくり学科」の名称は、令和6年度1年次入学者より適用します。令和5年度以前に入学された方は、入学時の学科名称である「コミュニティデザイン学科」を継続して使用します。

- 2023（令和5）年度以前の入学者の学科名称
観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科
- 2024（令和6）年度以降の入学者の学科名称
観光コミュニティ学部まちづくり学科
- 名称変更の時期：2024（令和6）年4月1日

授業時間割・学事暦の変更について

2024（令和6）年度より、短期留学やボランティアなど、正課外活動の充実化を目的とし、夏季・春季休業期間の開始日を早めるため、講義科目及び実習科目の授業時間、時間割、授業回数を変更します。

○時間割

1時限	9：00～10：40
2時限	10：50～12：30
昼休み	12：30～13：20
3時限	13：20～15：00
4時限	15：10～16：50
5時限	17：00～18：40

※講義、外国語科目、および演習、体育実技科目は、講義科目の時限で授業を行います。

※授業時間は講義科目・実習科目ともに100分です。

※水曜日5時限の授業はありません。

※原則として、土曜日は2時限までです。

○授業回数

春・秋学期 各14回（週2コマの外国語科目は各28回）

○授業、定期試験期間

春学期	授業期間	2024（令和6）年4月9日～7月22日
	定期試験期間	2024（令和6）年7月23日～29日
秋学期	授業期間	2024（令和6）年9月24日～2025（令和7）年1月25日
	定期試験期間	2025（令和7）年1月28日～2月3日

○祝日授業実施日（月曜日授業）

春学期	4月29日、7月15日
秋学期	10月14日、11月4日

※祝日の多い月曜日に授業機会を確保するため（振替休日有）。

第56回 紫祭活動報告

第56回 紫祭実行委員会 委員長 櫻井 心羽



第56回紫祭では、跡見学園女子大学らしい華やかな紫祭とそこでの繋がりを大切にしたいという想いで「桜華～繋がりを紡ぐ～」をテーマに掲げ開催いたしました。開催日（2023年10月28日・29日）は天候が安定せず不安な点もありましたが、1500人を超える方にご来場いただきました。

2022年の11月から活動をはじめ、90名以上の実行委員で役割を分担し尽力して参りました。今年度は更に新たな試みに挑戦したいという熱意をもち活動しましたが、もちろん全て上手く進んだわけではなく、トラブルも多々ありました。しかし、実行委員同士で助け合ったり参加団体と協力し合ったりと、テーマである紫祭での繋がりを沢山感じられる場面があった活動となりました。



また、今回4年ぶりに調理を伴う出店が可能となり、紫祭実行委員会からは紫祭名物のピタパンの販売をいたしました。現実行委員はピタパンを販売していたコロナ禍前の活動を知らず手探り状態でしたが、大好評を得て売り切れとなりました。他にも餃子ドックやチュロス、キッチンカーなどの出店もあり、食事をしながら野外ステージのパフォーマンスを楽しんでいただくことができました。

さらに紫祭実行委員会主催で、1日目はタレントとして幅広い活躍をしている丸山礼さんのトークショー。2日目は四千頭身さん、豆鉄砲さん、ちゃんぴおんずさんによるお笑いライブを開催いたしました。両日とも沢山の笑いに包まれていました。他にも屋内外で、各参加団体の展示や演奏・ステージ、販売の企画があり大いに盛り上がりしました。



最後になりますが、お忙しい中にも関わらずご来場いただきました全ての皆様へ感謝申し上げます。また、様々な点でご指導ご協力いただきました小中学長をはじめ、教職員の皆様のおかげで紫祭を成功させることができました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。来年度以降も紫祭実行委員会を中心となって伝統ある紫祭を未来へ引き継いでいきます。今後ともご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

CLUB Now

跡見ニューツーリズム研究会 会長 千野 心優



ごきげんよう。跡見ニューツーリズム研究会です。私達は、大学唯一の観光を通じて地域と関わることができる公認サークルです。2ヶ月に1回、観光地を訪れ、観光を学ぶ学生の視点での新しい観光の在り方について学んでいます。私達の最大の目標は、大学の授業だけでは補いきれない「観光」をテーマに実践的な研究活動を進めることです。といってもそんなに堅苦しい活動ではありません！今年度は、夏休みに廃校をリノベーションした泊まれる学校（さる小・群馬県）を貸し切り、会員45人でBBQや運動会など様々な企画を楽しみ、コロナ禍で奪われた青春を謳歌してきました。このように楽しみながら学び、知見を広めています。さらに研究会を通じて、ボランティアやインターンの参加募集を定期的に行っています。就活時に役立つガクチカになること間違いなしです！

皆さん旅をすることは好きですか？私は大好きです！美しい景色を眺めたり、その地域の伝統を感じたり、歴史を学んだり、旅には魅力的で、人々の心を掴むたくさんの要素が詰まっています。旅が好きで、観光に興味のある全学部の皆さん！ご入会お待ちしております！興味のある方はぜひご連絡ください！

公式X (@atm_newtourism)



2023年度 課外活動奨励賞

本学では、クラブ・愛好会団体を対象に課外活動で他の学生の範となる活動を行い、優秀な成果をあげた1団体に日頃の努力を称え「課外活動奨励賞」を授与しています。2023年10月29日（日）紫祭にて表彰式が行われ、学生サポートセンター長より賞状と副賞として10万円が贈られました。

受賞団体：マンドリンクラブ

表彰内容・理由：マンドリンクラブは、新座と文京の両キャンパスで、日頃から熱心に練習に励んでいます。音楽を多くの方々に楽しんでもらいたいという思いから、文京区にある温浴施設「大黒湯」でのミュージックフェスへの出演や、新座市中野町内会敬老会での演奏など、地域貢献活動に取り組みました。また、部員数の減少が続いていましたが、工夫した勧誘活動により新入部員獲得に努めました。部員たちの主体的、かつ継続的な努力により、今後の活躍と発展に期待できることが受賞理由です。

■受賞の感想

マンドリンクラブ 部長 柿沼美月

この度はマンドリンクラブの課外活動が評価され、光栄な賞をいただき、大変うれしく思います。ありがとうございます。今年度は、文京区にある大黒湯での学生プロジェクトへの参加、新座市中野町内会での敬老会での演奏など、外部の方との交流を多く持つことが出来ました。このような活動は数年ぶりに行われたため、現部員にとってはすべてが初めての経験ばかりでした。マンドリンのノスタルジックな音色を多くの皆様に楽しんでいただくことが出来て、私たちにとっても、非常に貴重な体験となりました。これもひとえに顧問の阿部洋子先生（心理学部）や大学関係者の方々の温かいご理解とご支援のおかげと心から感謝しております。



■今後の目標

現在、マンドリンクラブは部員の減少が課題となっており、今後の活動縮小が危ぶまれています。しかし、今年度の活動を通じて、合奏が人と人とを繋いでくれることを実感することが出来ました。これからも楽器の演奏を楽しみ、少しでも多くの方に楽しんで聴いていただけるよう努力していきたいと思っております。

学生会情報

学生会本部 副会長 坂本 彩乃

ごきげんよう。寒さの中に春の気配を感じる季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年度の学生会本部では、2023年10月28日・29日に行われた紫祭で、模擬店出店を行いました。餃子ドッグを販売し、ご好評いただき無事に2日間とも完売させることができました。お越しいただいた皆様、ありがとうございました。

また、2023年11月29日には、ホテル椿山荘東京にて学生会本部主催の和食テーブルマナー講習会を開催しました。新型コロナウイルスの影響もあり、4年ぶりに開催することができました。役員にとっても初のテーブルマナー講習会となり、手探り状態ではありましたが、跡見生の皆様と楽しく和食のマナーを学ぶことができ、特別な体験になりました。食後には椿山荘の庭園を散策



し、森のオーロラと東京雲海を見させていただきました。庭園に広がる雲海やオーロラはとても美しく、癒しの空間を参加者の皆様と共有することができました。

今年度は、新型コロナウイルスの影響による授業形態レベルが緩和され、学生会本部としてもようやく本格的に活動することができた実りのある1年となりました。3年生の先輩方が引退され、4月からは新入生を迎えます。現在、新入生歓迎オリエンテーションに向けて、冊子等の準備を進めています。

学生会本部は新体制になりますが、跡見生の皆様のキャンパスライフをより良くするために、今後も精進して参ります。来年度もよろしくお願いたします。



ゼミ紹介

西原ゼミ

文学部 現代文化表現学科 准教授 西原 麻里

西原ゼミは「現代テキスト表現（マンガ、小説、エッセイ、ゲームなど）」を対象に研究しています。中心はマンガ文化ですが、一口に「マンガ」といっても、表現もジャンルも物語もさまざま。ピプリオバトルや作品レビューなどを通じて、自分の言葉で表現したり他のメンバーが紹介する作品に触れたりすることで、各自の視野を広げ考察を深めることをゼミの目標にしています。

3年次ではゼミ生全員で共同研究を実施します。2023年度は「原作マンガ作品と他のメディア化作品の表現やメッセージの異なり」をテーマに、マンガとアニメ・実写ドラマや映画・舞台の変化について研究しました。マンガで描かれる激しいバトルシーンを俳優はどのように演技しているのか、異世界という設定は舞台上でいかに三次元化しリアリティを演出しているのか。単なる原作の再現ではない、メディア表現の特徴に気づく機会となりました。現在は全員で、研究成果などをまとめたゼミ誌を制作中です。



松井(理)ゼミ

観光コミュニティ学部 コミュニティデザイン学科 准教授 松井 理恵

松井(理)ゼミの目標は、テキストとフィールドの往復を通じて社会問題や社会現象を分析し、考察できるようになることです。そこでゼミの一環として、2023年9月に韓国の地方都市、大邱と仁川のフィールドワークをしました。

事前準備として、それぞれの都市に関する本や論文をゼミで輪読しました。そして、実際に都市を歩き、現地の方々から直接お話を伺うことを通じて、植民地時代や解放後の歴史を組み込んだまちづくりの可能性を体感しました。

フィールドワークでは在来市場に行ってみたり、韓国の伝統衣装を着てみたり、路線バスや地下鉄、高速鉄道といった公共交通機関を使って移動したりしました。慣れないことばかりで大変でしたが、現地の人びとの生活に直に触れることができました。

今回のフィールドワークで学生たちは、「比較の視点」を身につけたようです。このような学修を積み重ねて、自分の研究テーマを見つけ、調査、分析、考察を通じて新たな知見を得る力をつけていきます。



安藤ゼミ

マネジメント学部 生活環境マネジメント学科 教授 安藤 生大

環境問題を研究テーマとする安藤ゼミでは、毎週のゼミの始めにエコ検定の問題を5問ほど解き、解説します。続いて、生活や環境に関する簡単な英文を読みます。ここまでが、ゼミの肩慣らしで、ゼミの後半では衣食住や地球環境問題についての本や学術論文を輪読します。環境問題は、社会科学から自然科学まで幅広い分野にわたり、さらには地球規模の問題を扱うため、英語力も含めた様々な知識を包括的に学ぶ必要があります。

このような教室での学びに加え、都内で開かれる自然観察会への参加を学生に推奨しています。夏休みには文京区の小石川



植物園等で行なわれた自然観察会に、冬休みには上野の不忍池で行なわれた渡り鳥の観察会などに参加しました。参加した学生には、都会の中の公園や水辺で、普段気付かない昆虫や野鳥などとの出会いがあり、身近な環境問題を考えるととても良い機会になったようです。春休みにも植物や野鳥などの観察会があり、一年を通じて、教室だけでない実践的な学びを学生とともに楽しみたいと考えています。

新井ゼミ

心理学部 臨床心理学科 准教授 新井 雅

不登校やいじめなど、学校教育が抱える問題は複雑化・多様化しています。本ゼミでは、主に小学生や中学生、高校生といった子どもたちの心身の不調や不適応問題に対する心理教育的な援助について学びます。学生は、学校心理学やスクールカウンセリングなどにかかわる様々なグループワークやロールプレイ、視覚的教材や架空事例などを通して、心理援助の方法について体験的に学びを深めます。さらに、これらの学習を基礎としながら、学生自身の興味・関心に応じたテーマに沿って、子どもたちや社会に役立てていくための心理学研究の学びを行っていきます。例えば、SNSの利用が心理的健康にどのような影響を及ぼすのか、児童生徒が悩みを抱えた時に学校の先生に援助や助けを求めやすくするにはどうしたらよいか、などといった研究テーマがあげられます。学生一人ひとりが、子どもたちの豊かな成長・発達につなげるための心理教育的援助とは何かについて熱心に検討しています。



2023年度 夏期海外研修終了報告

2023年8～9月、コロナ禍を経て3年ぶりとなる「夏期海外研修」を再開しました。イギリス、アメリカ、フランス、台湾、韓国の5つの国・地域で計58名の学生が2～4週間の充実した時間を過ごしてきました。入国に伴う審査の厳格化や、流動的なワクチン接種条件など、コロナ禍前とは全く異なる状況ではありましたが、大過なく研修を終了することができました。

・イギリス・スターリング大学

研修日程 2023年8月5日（土）～9月5日（火）
（32日間）

参加学生 10名



スコットランド伝統衣装「キルト」を着て記念撮影

・台湾・国立台湾師範大学

研修日程 2023年8月13日（日）～9月2日（土）
（21日間）

参加学生 5名



文化授業で「書道」に挑戦

・アメリカ・ローワーコロンビアカレッジ

研修日程 2023年8月6日（日）～8月21日（月）
（16日間）

参加学生 10名



クリス学長の案内でキャンパスを見学

・韓国・東義大学校

研修日程 2023年8月13日（日）～8月26日（土）
（14日間）

参加学生 27名



おそろいの「チマチョゴリ」を着て記念撮影

・フランス・西部カトリック大学

研修日程 2023年8月6日（日）～9月5日（火）
（31日間）

参加学生 6名



ステファン副学長と修了証を手に記念撮影

2024年2月～3月にかけて、春期海外研修を行っています。研修先・参加学生数は下記の通りです。

- ・アメリカ ローワーコロンビアカレッジ…9名
- ・ドイツ ミュンヘン大学……………4名
- ・台湾 国立台湾師範大学……………5名

2024年度夏期海外研修については、4月頃ポータルにてご案内します。

また、Microsoft Teams「国際交流Information」で国際交流情報を随時発信しています。

海外研修や英会話サロン、韓国語サロンなどに興味のある方はTeamsもご覧ください。

チームコード：xbmva5o

地域交流活動の紹介

シンポジウム

『地方を盛あげ隊!~文京区学生による盛岡アグリイノベーション』 を開催しました



シンポジウムの様子

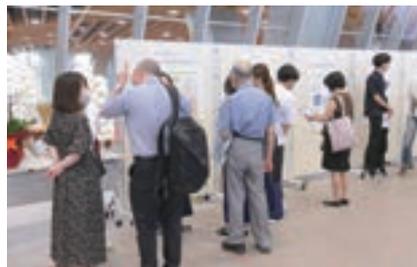
地域交流センターでは、拓殖大学の共催、文京区と盛岡市の後援のもと、2023年7月8日に『地方を盛あげ隊!~文京区学生による盛岡アグリイノベーション』と題するシンポジウムを開催しました。今年、本学が盛岡市と「連携・協力に関する包括協定」を締結してから1周年、そして、盛岡市と文京区が友好都市提携を締結して5周年となる年です。こうした連携のもと、本学では、盛岡市玉山地域の農業発展を目指す「文京区学生と創るアグリイノベーション事業」に取り組み、「地方創生」や「教育・学術研究の推進」を目指してきました。

今年度のシンポジウムでは、本事業に関わる文京区および盛岡市の担当者、事業に参加する文京区内の大学生（跡見学園女子大学、拓殖大学、東京大学）、専門家を交え、大学の地方（地域社会）でのフィールド活動やフィールドワーク教育が持つ意義と課題を検討しました。早田宰氏（早稲田大学社会科学学術院教授）による基調講演ではソーシャルイノベーションのポイントが提示されました。その後、各大学が取り組む意欲的なアグリイノベーション事業の活動が発表されました。後半のパネルディスカッションでは、参加学生がこの事業を通じて何を経験し、何を学び、生活や進路にどのように影響しているのかについて議論し、今年度3年目となる事業の到達点と今後の展望を共有することができました。

また、シンポジウム関連企画として、登壇者以外の学生も交えた学生交流会、大学および各自治体の事業関係者の交流会、各大学の活動紹介を行うパネル展、学食での盛岡特別メニューの提供、盛岡さんさ踊りの披露なども行いました。このシンポジウムを機に、文京区・盛岡市・区内大学の学生など関係者との交流をさらに深め、活動を活性化させることができました。



盛岡さんさ踊りの様子



パネル展の様子



学生交流会の様子

時代まつり

全国藩校サミット文京大会記念事業「時代まつりin文京」 の式典に参加・出店しました

全国藩校サミットは、各地域に息づく藩校の伝統や精神を現代の視点で見直して、次代に生かしていこうという趣旨で、2002年から毎年、旧藩校所在地の持ち回りで開催されています。第20回の節目を迎える今年は、全国藩校サミットの初回開催地である文京区が開催地となりました。その記念事業として行われたのが「時代まつりin文京」です。2023年11月3日（金・祝）に傳通院を中心として開催されました。徳川家宗家当主や公募小学生の約200人が街を練り歩く「時代まつり行列」が行われたほか、物産展やキッチンカーが出店し、子ども向け縁日も行われました。本学からは小仲学長と土居地域交流センター長が記念式典に出席したほか、跡見「学芸員」in菊坂の学生5名と観光



参加した学生たち

デザイン学科川副ゼミの学生5名が子ども向け縁日に出店し、缶バッジ制作ワークショップと輪投げを行いました。缶バッジ制作ワークショップでは、学生がバッジの塗り絵用に描いた動物のイラストのほか、忍者や樋口一葉など時代まつりに合わせたイラストが好評でした。輪投げでは、樋口一葉が駄菓子屋を営んでいたことにちなんで駄菓子を景品としました。約300組の親子が来店し、開店から閉店まで客足が途切れることなく大変盛況でした。学生たちは、子どもたちとの交流を楽しみ、文京区の歴史や文化のパワーに触れ、いろいろな学びを得たようです。旧伊勢屋質店のパンフレット配布なども行い、大学や学生生活に関心を寄せられた方への広報活動を行うこともできました。



時代まつり行列の様子



出店した缶バッジワークショップの様子



令和5年度 ふみ みやこ 文の京ゆかりの文化人顕彰事業 「朗読コンテスト」 について



長井さんの朗読の様子

令和5年度の文の京ゆかりの文化人顕彰事業「朗読コンテスト」が、令和5年11月5日(日) (13時00分～16時00分)、跡見学園女子大学プロッサムホールで開催されました。

今年度で12回目となる本コンテストは、ふみ みやこ 文の京ゆかりの文化人顕彰事業のひとつで、文京区と連携をして朗読者に発表の場を提供するとともに、区民の文化活動の一層の促進、特に青少年部門においては朗読への関心を醸成することを目的として、文京区が主催し、本学が主管して平成24年度から開催されています。

開会にあたり、成澤廣修文京区長よりご挨拶をいただきました。

今年は「文京区・盛岡市友好都市提携5周年事業」、没後90年を迎えた宮沢賢治の7作品を課題作としました。現代に生きるわたしたちの社会課題である多様性の実現と賢治が童話作品を通じて希求していたことと重なり合うと考え、テーマは「賢治童話の世界—他者を生きる—」としました。

応募総数274名（一般145名、青少年129名）のうち、NHK財団ことばコミュニケーションセンターの事前録音審査で選ばれた青少年の部8名、一般の部8名が本選に出場しました。

広瀬修子氏（元跡見学園女子大学教授、元NHKアナウンサー）、高橋淳之氏（NHK財団ことばコミュニケーションセンター 専門委員）、上野義博氏（文京区教育委員会教育指導課 指導主事）の3氏による厳選な審査の結果、最優秀賞2名（一般の部、青少年の部各1名）と優秀賞4名（一般の部2名、青少年の部各2名）の受賞が決定しました。今年度は、本学心理学部 臨床心理学科4年生の長井祐香さんが、青少年の部で優秀賞を受賞しました。

審査中には、ステージで、宮沢賢治にゆかりのある盛岡市の紹介動画を上映し、特別展示ではプロッサムホール前にて、宮沢賢治関連写真、本学図書館の貴重本、資料等を展示しました。



「青少年の部」出場者と学長、審査員

就職課 Information ～就職部 就職課～

就職部では、2023年夏季もATOMIインターンシップ、PBL（課題解決型学習）プログラム、社会人インタビューを実施し、参加学生のキャリア意識は大きく高まりました。今号では、それぞれのプログラムと低学年支援についての新たな取り組みについてご紹介します。

全学部全学科1～3年生対象「ATOMIインターンシップ2023」

就職部主催のATOMIインターンシップは、就業体験を通して学生が自己の責任において納得のできる就職をするための職業観を養い、「働き方を含めた今後の生き方」を考えることを目的としています。

事前研修から成果報告会を含め約4カ月間にわたる長期プログラムであり、26年目を迎えた2023年度は、42の企業・自治体のご協力のもと、87名の学生が参加しました。

今年度は、各企業・自治体での研修時に得られた知識や経験を学生同士で共有する機会としてグループワークを多く取り入れました。参加学生からは、「職業選択の視野が広がった」「自己成長を感じられた」という感想が聞かれました。

採用市場の変化が著しい昨今においても、自分の価値観や適性を理解することの重要性は変わりません。業界・企業との接点を得られる本プログラムが、今後の就職活動の一助となることを願っています。



事後研修の様子

3年生対象「PBL（課題解決型学習プログラム）」

2023年8～9月に、就職部では7年目となる「PBL（課題解決型学習プログラム）」を実施しました。

今回は全国にリラクゼーションスタジオ Re.Ra.Kuを展開するメディロムグループに業務上の課題をご提示いただき、学部混合による7つの学生チーム総勢34名が課題解決に挑みました。同社は「リラクゼーション」という言葉の認知や理解が世の中に根付いていないのではないかと問題を抱えています。そこで、「リラクゼーションを受けることが当たり前な社会にするためには」をテーマとして、約1ヶ月かけて学生たちは解決策の立案に取り組みました。各チームで検討を重ね、同社の方々にプレゼンテーションを行なった結果、最優秀賞、優秀賞、Goodアイデア賞が選ばれました。参加学生からは、「ゼロから1を創り出すことの大変さや難しさ、ビジネスの視点で物事を考える力が必要であることを知ることが出来た」という感想が挙がりました。



学生チームがアイデアを提案

1～3年生対象「社会人インタビュー」

「社会人インタビュー」は、就職活動に向けて学生が低学年のうちから自ら進路を考え、自身が働く姿をイメージできるようにすることを目的に実施しています。2023年度は企業3社（第一水産（株）、（株）ユニフロー、市川市農業協同組合）にご協力いただき、1～3年生8名の学生が参加しました。オリエンテーションから事後研修までの全4回の集合研修では、学年・学部混合のチームに分かれ、企業研究やインタビュー項目についてのグループワークや発表を行い、準備と振り返りを重ねました。各企業のインタビュー当日は、緊張しながらも、事前に準備した質問項目について、学生自ら企業の担当者に積極的に質問することができ、学生にとっても新たな気づきを得る機会となりました。

就職部では今後もより多くの学生に参加いただけるよう、プログラムの充実に努めて参ります。



インタビュー後の集合写真

TOPIC

就職活動の早期化に伴い、低学年支援に力を入れています

インターンシップの多様化や早期選考の活発化に備え、2023年度から1～2年生の就職支援に一層力を入れています。新座キャンパスへ月に2～3日就職部スタッフが外向き、「進路なんでも相談会」「個別相談」を実施しています。また、従来3年生の春学期におこなっていた「求職登録面談」は、今年度より開始時期を2年生の秋学期に繰り上げ「進路調査面談」としておこなっています。卒業後の進路に対する意識を高めるよう働きかけ、3年生春から本格化する就職活動に向けて全力で支援して参ります。

情報メディアセンターからのお知らせ

◆新座キャンパスAV機器入替

2023年夏季休業期間に、今年度リプレイス事業のひとつとして、新座キャンパス1号館8教室のAV機器をリニューアルしました。他の多くの教室と同様、操作手順がシンプルになり、使いやすくなりました。新しい機器を活用することにより、プレゼンテーションやデモンストレーションの品質が向上し、効果的な学修に繋がることが期待されます。学生の皆様がより充実した環境で受講できるよう、今後も整備を進めていきます。



◆新座キャンパス大学院生研究室Wi-Fi整備完了！

新座キャンパス大学院生研究室のWi-Fiの整備が完了しました！高速で安定した接続環境となり、PC、スマホなどのデバイスを、研究室でストレス無く思う存分活用できるようになりました。

◆保証人ポータルについて

学内の情報共有基盤であるポータルシステムを、2021年度秋学期より、保証人にも公開しております。確認できる主な内容は下記の通りです。

・成績、学生時間割表、シラバス、学籍情報、大学からのお知らせ

ログインID/パスワードは、保証人住所宛てに郵送でご案内しておりますのでご確認下さい。ご不明な場合は下記メールアドレスまでご連絡をお願いいたします。また、お知らせが届いた際にメール通知を受け取ったり、パスワードを忘れたりした際に自ら仮発行をする事ができますので、ログイン後の「setting」画面より、メールアドレスの設定をしていただきますようお願いいたします。

お問い合わせ先：情報メディアセンター d-multi@mmc.atomi.ac.jp

※2024年度入学生の保証人の方へは別途ご案内いたします。



図書館トピックス

1. 新座図書館1F展示室の利用について

令和5年10月24日（火）から12月25日（月）まで、跡見学園女子大学新座図書館1F展示室において文学部人文学科教授の柴田眞美先生が中心となり「ATOMIの美術実習—学生作品（新座・文京）展覧会—」を開催しました。展示作品は学生の授業作品、柴田先生ご自身の作品及び新座ゆかりの画家、池田幹雄氏の作品でした。展覧会開催中は学外から来場者が訪れるなど多くの方々の来場がありました。



2. トワイライト映画上映会の開催

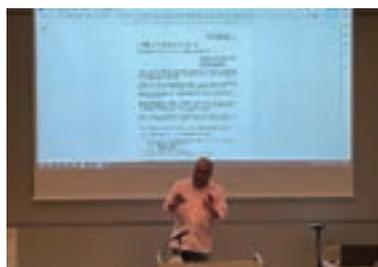
令和5年10月から12月にかけて、図書館主催、国際交流課共催で解説付き「トワイライト映画上映会」を開催しました。

【第3回10月20日（金）「帰ってきたヒトラー」（2015年独）】於：新座キャンパス

【第4回①12月18日（月）「タイピスト」（2011年仏）】於：文京キャンパス

【第4回②12月22日（金）「美女と野獣」（2014年仏独合作）】於：新座キャンパス

第3回は文学部人文学科准教授の阿部一哉先生、第4回（新座・文京）は文学部人文学科講師の中山慎太郎先生が上映作品について、映画の時代背景や見どころなどを解説しました。上映後、先生方と参加した学生たちの間で歓談する姿から映画会を満喫した様子が感じられました。



第3回「帰って来たヒトラー」



第4回「タイピスト」

2023年度「学生生活に関する調査」結果について

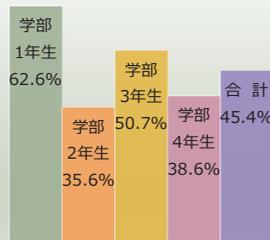
本学では、学生の皆さんの意見を大学運営に反映させるため、学生生活や学修に関する調査を例年実施しています。これまで本調査の結果から「学生食堂へのWi-Fi導入及び利用エリアの拡大」「コモレピ（グリーンホール2階ラウンジ）設置」「ウォッシュレットの導入」などを実施しました。

2023年度は、これまでの調査より設問内容を大きく変更し、より教育の質の保証や学生満足度向上のための基礎資料として活用するための設問を中心に構成して実施いたしました。なお、調査結果の詳細は大学ホームページ上で公開しておりますので、そちらもぜひご覧ください。 <https://www.atomi.ac.jp/univ/about/information/admitted/#content-06>
 今後もより良い大学づくりを行っていくために、本調査へのご協力をお願いいたします。

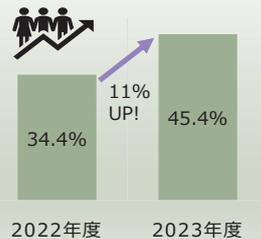
① 調査の実施概要

調査対象 全学生
 調査期間 2023年6月26日
 ~7月17日
 対象者数 3,629名
 回答者数 1,649名
 回答率 45.4%
 ('22年度 34.4%)
 ('21年度 43.0%)

学年別回答率



回答率の推移



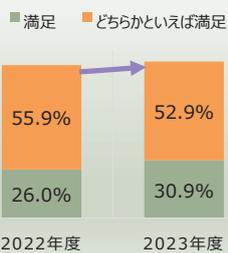
詳細は大学HPをご覧ください
 →QRコードからアクセスできます



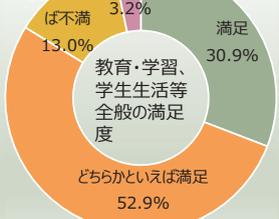
<https://www.atomi.ac.jp/univ/about/information/admitted/#content-06>

② 学生生活の満足度

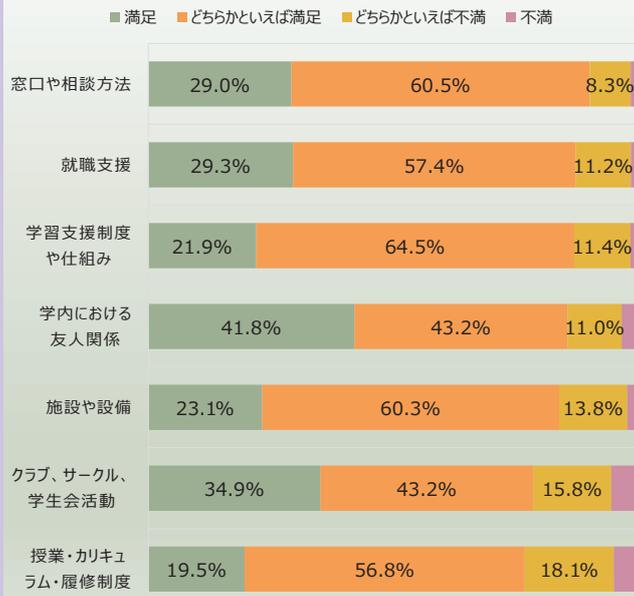
全体満足度の推移



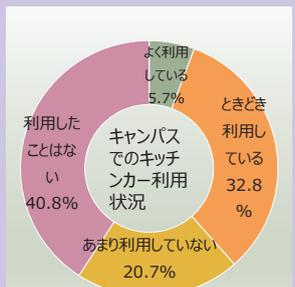
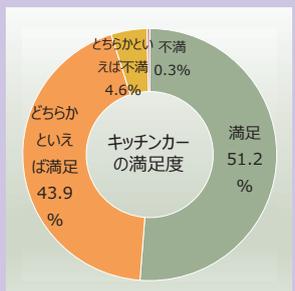
教育・学習、学生生活等全般の満足度



主要7領域の全般満足度相对比较

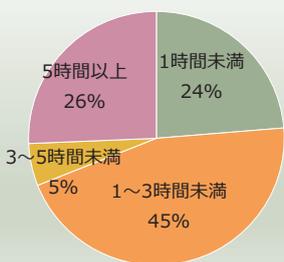


【特別設問】キッチンカー特集

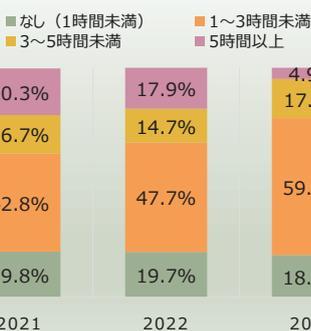


③ 学修時間・学修行動

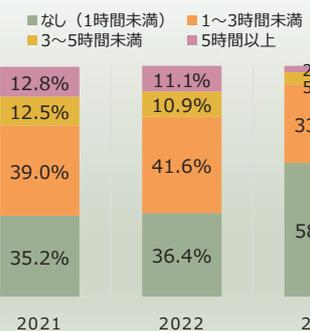
1週間あたりのアルバイト時間



1週間の学修時間（授業の予習・復習等）



1週間の学修時間（検定・資格・語学等）



2023年度 学内講演会 開催報告

全学共通科目運営センター

- 2023年度全学共通科目運営センター主催FD講演会
日 時：2023年11月15日(水) 14:40～16:10
場 所：オンライン開催
テーマ：学外(高校生・受験生・保護者等)にアピールできる教育実践とは何か?
プログラム：
(司会) 新井雅准教授(臨床心理学科)
1. 開会の辞 学長 小仲信孝教授
2. 問題提起 矢野峰生教授(コミュニティデザイン学科)
～受験生増加を見込んだ学外(高校生・受験生・保護者等)にアピールできる教育実践とは何か?～
3. 授業における具体例アピール紹介とディスカッション
①文学部 伊藤穂教授(現代文化表現学科)
②文学部 中山慎太郎講師(人文学科)
③心理学科 前場康介准教授(臨床心理学科)
④観光コミュニティ学部 矢野峰生教授(コミュニティデザイン学科)
参加者数：(当日参加者) 82名(専任教員76名、兼任教員4名、専任職員2名)

文学部

- 文学部FDワークショップ
日 時：2023年9月7日(木) 13:00～14:30
場 所：オンライン開催
テーマ：文学部におけるフィールドワークの実践例——アフターコロナの授業外活動
発表者：長谷川 裕子 教授(人文学科)、
山本 博一 准教授(現代文化表現学科)
参加者数：25名

マネジメント学部

- マネジメント学部主催 第1回FDワークショップ
日 時：2023年6月14日(水) 13:00～14:30
場 所：Teams「マネジメント学部 FD ワークショップ」
テーマ：新カリキュラムの内容について
発表者：山澤成康教授(マネジメント学科)
対象者：マネジメント学部専任教員
参加者：25名(専任教員25名)
- マネジメント学部主催 第2回FDワークショップ
日 時：2023年11月22日(水) 13:00～14:30
場 所：Teams「マネジメント学部 FD ワークショップ」
テーマ：令和7年度カリキュラムの『2年ゼミの進め方』について
発表者：山澤成康教授(マネジメント学科)
対象者：マネジメント学部専任教員
参加者：24名(専任教員24名)

- マネジメント学部主催 春学期キャリアデザイン講演会
日 時：①2023年7月18日(火) 16:40～18:10
②2023年7月25日(火) 16:40～18:10
場 所：①新座キャンパス 図書館視聴覚ホール
②新座キャンパス 花溪メモリアルホール
講 師：①②川合亜沙子さん LifeScan Japan(株) 東日本営業部 部長
テーマ：①②「ワクワクキャリアのつくり方～私らしく働くために～」
参加者：①128名 ②107名

- マネジメント学部主催 秋学期キャリアデザイン講演会
日 時：①2023年11月14日(火) 16:40～18:10
②2023年11月24日(金) 16:40～18:10
場 所：①②新座キャンパス 花溪メモリアルホール
講 師：①②峯山英美佳さん 株式会社マイナビ 就職情報事業本部 就職ナビ統括本部 東京キャリアサポート課
テーマ：①②「ワクワクキャリアのつくり方～私らしく働くために～」
参加者：①127名 ②108名

観光コミュニティ学部

- 観光コミュニティ学部主催 FD講演会
日 時：2023年7月12日(水) 17:20～18:20
場 所：オンライン開催
テーマ：卒業論文指導を考える
プログラム：
・卒論指導の進め方事例報告①(観光デザイン学科 小関孝子講師)
・卒論指導の進め方事例報告②(コミュニティデザイン学科 土居洋平准教授)
・質疑・意見交換
参加者数：18名(学部専任教員17名、演習担当兼任教員1名)

心理学科

- 第1回心理学FDワークショップ
日 時：2023年9月6日(水) 14:40～16:10
場 所：新座キャンパス2283教室・オンライン開催
主 催：心理学科臨床心理学科
テーマ：臨床心理学演習(ゼミ)における工夫と課題
発表者：
・企画趣旨説明 前場康介准教授
・登壇発表者 下山晴彦教授、板東充彦教授、福島里美講師
プログラム：①企画趣旨説明、②登壇者発表、③フリーディスカッション
参加者数：心理学科教員12名

大学院人文科学研究科

- 日本文化研究フォーラム
日 時：2023年7月1日(土) 13:30～15:00
場 所：文京キャンパス2号館2401教室・オンライン開催
テーマ：日本画の成り立ち—制度と実質
発表者：北澤 憲昭 氏(美術評論家)
参加者数：25名

2023年度 各種研究助成報告

公的研究費 科学研究費助成事業(独立行政法人日本学術振興会)

	新規採択研究課題	継続研究課題	2023年度直接経費 ^{※1}
研究代表課題	6件	15件	計14,935,000円
研究分担課題	1件	19件	計2,990,000円

※1 2023年度に配分された本学研究者の直接経費(代表課題の場合、研究分担者への配分額は含まない)

学内研究助成

	教員数	助成額
海外・国内留学助成	3名	計4,300,000円
特別研究助成	2名	計2,330,000円
学術図書出版助成	1名	1,000,000円
外国出張旅費助成	6名	計1,800,000円

Open Campus 2024年3月23日(土) オープンキャンパスのご案内

2024年最初のオープンキャンパスは、桜の名所として知られる「新座キャンパス」で開催します。当日は、本学の特色・学習環境を知っていただく次のプログラムを用意しています。是非ご参加ください。

Program

事前登録制

跡見を知る	大学紹介・学科紹介(学科企画)・入試説明
跡見を深める	学生&教員相談コーナー・学生生活相談コーナー・入試個別相談コーナー
跡見で体験する	キャンパスツアー・学生広報チームAell's特別企画



学生個別相談

2024年度の予定

オープンキャンパスの他、ナイト説明会、大学見学会、入試対策セミナー等を実施します。今後の予定および詳細は、本学HPにてご確認ください。

* 個別相談・学校見学も随時受付中です。

その他、入試に関するお問い合わせは入試課 (TEL:048-478-3338) までお願いいたします。

2024年3月23日(土)「桜まつり」同時開催!

2024年3月23日(土) オープンキャンパス当日は、「桜まつり」も同時開催しています。46種約200本の桜が植樹される新座キャンパスは、例年3月下旬～4月上旬に桜の見頃を迎えます。「桜まつり」は、大学構内を一般の方々に開放し、多彩な桜が咲き誇る様子を自由にご見学いただくイベントです。飲食物や跡見グッズ、工芸品の販売、お香の香りを楽しむ香席体験、学祖・跡見花蹤の書画の企画展示など、様々な企画をご用意しています。是非、この機会に新座キャンパスまでお越しください。

【開催日時】2024年3月23日(土) 10:30～14:30(※雨天決行)

【開催地】跡見学園女子大学 新座キャンパス

《来場無料》※大学関係者に関わらず、どなたでもご来場いただけます。

※JR武蔵野線新座駅より無料の大学バスをご利用いただけます(自家用車でのご来校はご遠慮ください)。

※その他、「桜まつり」に関する詳細は、本学HPよりご確認ください。

2024年度春学期オリエンテーションおよび定期健康診断日程

●学部 新1年生対象

4月2日(火)	一人暮らしのガイダンス・学生寮オリエンテーション（入寮者のみ対象）
3日(水)	入学式・新入生説明会・履修ガイダンス ＜マネジメント学部＞ 学部ガイダンス ＜観光コミュニティ学部＞ 学部・学科ガイダンス・グループミーティング
4日(木)	＜文学部・心理学部＞ 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・資格課程（教職・学芸員）ガイダンス（人文学科のみ）
5日(金)	＜全学部＞ 資格課程（司書）ガイダンス ＜文学部・心理学部＞ 個別面談 ＜マネジメント学部・観光コミュニティ学部＞ 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・グループミーティング・個別面談・資格課程（社会調査士）ガイダンス（観光コミュニティ学部のみ）
8日(月)	健康診断（午前：文学部・心理学部、午後：マネジメント学部・観光コミュニティ学部）

●学部 新2年生対象

3月25日(月)	健康診断（文京キャンパス） （午前：文学部・心理学部、午後：マネジメント学部・観光コミュニティ学部）
4月6日(土)	＜全学部＞ 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学部学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談

●学部 新3年生対象

3月22日(金)	健康診断 （午前：文学部・心理学部、午後：マネジメント学部・観光コミュニティ学部）
26日(火)	＜観光コミュニティ学部＞ 資格課程（社会調査士）ガイダンス・進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学部ガイダンス・グループミーティング・個別面談
27日(水)	＜マネジメント学部＞ 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学部ガイダンス・グループミーティング・個別面談
28日(木)	＜文学部＞ 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談
29日(金)	＜心理学部＞ 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談

●学部 新4年生対象

3月21日(木)	健康診断 （午前：文学部・心理学部、午後：マネジメント学部・観光コミュニティ学部）
26日(火)	＜観光コミュニティ学部＞ 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学部ガイダンス・グループミーティング・個別面談
27日(水)	＜マネジメント学部＞ 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学部ガイダンス・グループミーティング・個別面談
28日(木)	＜文学部＞ 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談
29日(金)	＜心理学部＞ 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談

●大学院生対象

3月25日(月)	＜マネジメント研究科のみ（文京キャンパス）＞ 健康診断
4月3日(水)	＜両研究科新1年生のみ（新座キャンパス）＞ 入学式・専攻説明会他
6日(土)	＜人文科学研究科のみ2年生のみ（新座キャンパス）＞ 履修ガイダンス・専攻ガイダンス
8日(月)	＜人文科学研究科（新座キャンパス）＞ 健康診断

※各実施時間はポータルよりご確認ください。

2024年度 花蹊記念資料館展示スケジュール

期 間	展覧会名・展示室 1	展覧会名・展示室 2
2024		
3月22日(金)～5月17日(金)	「跡見花蹊の書画—中国文化との関わり—」(仮)	
6月14日(金)～7月25日(木)	「書芸術の探究展Ⅲ」(仮)	「第16回 跡見OG書道展」
10月18日(金)～12月18日(水)	「現代版画名品展—収蔵品を中心に—」(仮)	
2025		
1月21日(火)～1月31日(金)	博物館実習生模擬展示	
3月24日(月)～3月31日(月)	「跡見花蹊のあゆみ」(仮)	

※展示期間、展示内容は変更することがあります。

◆ 春の行事予定 ◆

3月	18日(月)	第56回学部卒業式 第18回大学院修了式
4月	3日(水)	第60回入学式
	9日(火)	春学期通常授業開始

● 令和6年度履修申請期間 ●

- **Web履修登録申請期間**
1次 <全学年> 4月5日(金)、6日(土)、8日(月)
2次 <全学年> 4月11日(木)、12日(金)
- **履修登録状況(抽選結果)発表**
4月10日(水)、15日(月)
- **履修登録訂正手続期間**
4月16日(火)、17日(水)

令和6年能登半島地震による被害に遭われた皆様へ

令和6年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」により犠牲となられた方々に哀悼の意を表します。また、被災された皆様ならびにそのご家族、関係者の皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、皆様の安全と被災地域の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

被災された学生を対象として、独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)より奨学金、及び災害支援金が支給されます。申請に関するご相談は学生課までお申し出ください。その他、修学や学生生活にてお困りのことがありましたら、教務課や学生課、学生相談室・保健室までご相談ください。

跡見学園女子大学公式SNS紹介

本学公式SNSアカウントでは、ゼミでの取り組みやクラブ・サークル活動などの在学生の様子、各種イベントや入試情報など、本学の取り組みをご紹介します。在学生や保護者の皆様、また、本学に興味のある受験生の方々向けにも、さまざまな情報を発信しています。



Instagram

跡見学園女子大学
Atomi University(atomiuniv)



YouTube

跡見学園女子大学広報



X

跡見学園女子大学
(@Atomi_univ)



LINE

跡見学園女子大学
受験生向けの最新情報を発信しています。ご興味のある方は、是非、友だち登録をしてみてください。

跡見学園女子大学学報 第106号

発行日 令和6(2024)年3月15日
発行 跡見学園女子大学事務局庶務課
〒112-8687 東京都文京区大塚1丁目5番2号
電話03(3941)7420
URL <https://www.atomi.ac.jp/univ/>

この冊子は、適切に管理されたFSC®認証林からの原材料および、再生資源やその他の管理された原材料から作られた、環境配慮型のFSC®認証紙を使用しています。

